



日本

2nd Japan-Korea Joint Workshop on THz Technology

第2回日韓合同ワークショップ



한국

ワークショップのお申込は、URL: <http://www.terahertzjapan.com/event/2008jkworkshop.html> まで

■ 日時	2008年 10月24日(金) 10時30分～17時30分 (開場・受付は9時30分～) 25日(土) 10時～15時30分
■ 場所	三菱ビル コンファレンススクエア エムプラス・会議室「サクセス」(三菱ビル1階) 東京都千代田区丸の内 2-5-2 三菱ビル (JR東京駅 丸の内南口より徒歩2分) TEL: 03-3282-7777 FAX: 03-3287-5925 http://www.marunouchi-hc.jp/emplus/access/index.html
■ 主催	テラヘルツテクノロジーフォーラム
■ 共催	Korea THz Forum
■ 協賛	応用物理学会テラヘルツ電磁波技術研究会、電子情報通信学会テラヘルツ応用システム 時限研究専門委員会、日本分光学会、日本赤外線学会

10月24日(金)

- 09:30 登録受付 開始
- 10:30-10:40 開会の挨拶
阪井 清美 (テラヘルツテクノロジーフォーラム会長)
Han-Jo Lim (Korea THz Forum 会長)
- 10:40-11:50** **Session 1: テラヘルツテクノロジーの概要**
座長: 永妻 忠夫 (大阪大学), Yun-Sik Jin (KERI)
- 10:40-11:15 1-1 「韓国におけるテラヘルツ研究の概要」
Gun-Sik Park (ソウル大学校)
- 11:15-11:50 1-2 「日本におけるテラヘルツ研究の概要」
田中 耕一郎 (京都大学)
- (昼食)
- 13:30-15:10** **Session 2: テラヘルツ光学**
座長: 水津 光司 (名古屋大学), Hae-Wook Han (浦項工科大学校)
- 13:30-13:55 2-1 「フェムト秒レーザーパルスを用いた QPM 構造におけるテラヘルツ波同時発生」
Nan Ei Yu (Advanced Photonics Research Institute (APRI))
- 13:55-14:20 2-2 「5 フェムト秒パルスを用いた超広帯域テラヘルツの発生と検出」
芦田 昌明 (大阪大学)
- 14:20-14:45 2-3 「金属導波路を通したテラヘルツパルスの伝播」
Tae-In Jeon (韓国海洋大学校)
- 14:45-15:10 2-4 「テラヘルツセンサーデバイスのための伝送路網とフォトニック結晶」
尾内 敏彦 (キャノン株式会社)
- (休憩) 15分
- 15:25-17:05** **Session 3: テラヘルツ電子工学**
座長: 浅田 雅洋 (東京工業大学), Dai-Sik Kim (ソウル大学校)
- 15:25-15:50 3-1 「単層カーボンナノチューブ軟質フィルムを用いた
テラヘルツ電磁波シールド材料」
Yeong-Hwan Ahn (亜州大学校)
- 15:50-16:15 3-2 「低次元電子デバイスのテラヘルツ技術への応用：
カーボンナノチューブ検出器および近接場イメージング」
河野 行雄 (理化学研究所)

- 16:15-16:40 3-3 「KERI でのテラヘルツ技術における最新の研究活動」
Sun-Shin Jung (Korea Electrotechnology Research Institute (KERI))
- 16:40-17:05 3-4 「二次元プラズモンを用いたテラヘルツ発光・検出および信号処理」
尾辻 泰一 (東北大学)
- 18:30-20:30 懇親会 (KKRホテル東京 11F 「白鳥の間」)

10月25日(土)

10:00-11:40 **Session 4: テラヘルツイメージング・センシング**
座長: 安岡 義純 (防衛大学校), Tae-In Jeon (韓国海洋大学校)

- 10:00-10:25 4-1 「ナノ粒子造影剤を用いたテラヘルツ医療イメージング」
Joo-Hiuk Son (ソウル市立大学校)
- 10:25-10:50 4-2 「テラヘルツイメージング・センシングの応用」
川瀬 晃道 (名古屋大学)
- 10:50-11:15 4-3 「テラヘルツ領域における八木・宇田アンテナ」
Ikmo Park (亜州大学校)
- 11:15-11:40 4-4 「レーザーテラヘルツ放射顕微鏡とその応用」
斗内 政吉 (大阪大学)

(昼食)

13:30-15:30 **Session 5: テラヘルツポプリー –テラヘルツ最新情報についてのショートプレゼン**
座長: 平川 一彦 (東京大学), Joo-Hiuk Son (ソウル市立大学校)

“New Online World Wide Integrated Terahertz Database”, K. Fukunaga, I. Hosako (NICT), S. Ohno, Y. Minamide, C. Otani, H. Itoh (RIKEN)
NICT-RIKENオンラインテラヘルツデータベースについて

“A high power THz radiation source – Gyrotron FU CW III for high power THz technologies”, T. Idehara, I. Ogawa, H. Mori, S. Kobayashi, S. Mitsudo and T. Saito, (University of Fukui)
高出力テラヘルツ波光源: テラヘルツ・ジャイロトロン(FU CW III)の開発

“Design and Fabrication of Quantum Cascade Laser Structure based on III-Nitride Semiconductors in the THz Frequency Range”, W. Terashima, H. Hirayama (RIKEN)
III族窒化物半導体を用いたテラヘルツ量子カスケードレーザ構造の設計と作製

“Electromagnetic wave transmission through nanogaps”, D. S. Kim (Seoul Nat’l Univ.)
電磁波のナノギャップ透過

“THz-comb-based spectrum analyzer”, Ryotaro Nakamura, Shuko Yokoyama, Takeshi Yasui, Tsutomu Araki, (Osaka University)
テラヘルツコムを利用したスペクトラムアナライザ

“Cavity-free ultrashort pulse source using Mach-Zehnder-modulator-based flat comb generator”, Isao Morohashi, Takahide Sakamoto, Hideyuki Sotobayashi, Tetsuya Kawanishi, and Iwao Hosako (NICT)
マツハツェンダ変調型光コム発生によるキャビティフリー超短パルス光源

“Compressed Sensing and Motionless Terahertz Time-domain Spectroscopic Camera”, Jaewook Ahn, Kanghee Lee, Kyunghwan Jin, and Jong Chul Ye (KAIST)
可動部のない小型テラヘルツ時間領域分光カメラ

15:30 閉会の挨拶 井筒 雅之 (東京工業大学)

以上